

12月16日（金）開催 日米対話フォーラム 文化芸術を通じた多様性社会推進に向けて －「ソーシャルサーカス」のアプローチが持つ可能性－

国際交流基金（JF）は2022年12月16日（金）に、日米対話フォーラム「文化芸術を通じた多様性社会推進に向けて－『ソーシャルサーカス』のアプローチが持つ可能性－」をJF本部ホールさくらで開催します。

近年、オリンピック・パラリンピック東京大会の開催やSDGsへの関心の高まりをきっかけに、障がいの有無や年齢、ジェンダーなどにかかわらず、人々がそれぞれの個性や才能を活かして参加・貢献できる豊かな社会づくりの重要性が広まりを見せています。文化芸術の分野でも、障がい者をはじめとして多様な人々の活動を支えるさまざまな取組があり、その一つとして注目を集めているのが「ソーシャルサーカス」です。「ソーシャルサーカス」とは、サーカス芸術の体験や練習などを通じて、協調性や問題解決能力・コミュニケーション力などを総合的に育む社会貢献を目指す活動です。世界各地でマイノリティの包摂やエンパワメントの手段として活用されています。

本フォーラムでは、米国におけるサーカス芸術の普及・促進を目的としたネットワーク「サーカス・ディストリクト」の創設者ロッチ・バイラム氏を招き、米国の「ソーシャルサーカス」が、人種、ジェンダー、社会階層の垣根を越えて地域コミュニティの課題解決に貢献していることを、事例を交えて紹介します。さらに、京都に本社を置く株式会社サン・クロレラが、「多様性を企業と人材の力に変える持続可能な企業文化づくり」を目指して、日本で「ソーシャルサーカス」を実践する認定NPO法人スローレーベルと共同で立ち上げたプロジェクト「Glue Crew（グルークルー）」の事例を取り上げます。

JFは、グローバルな課題解決を目的とした国際対話・協働を推進しており、重点テーマの一つに「社会的包摂の実現」を掲げています。本フォーラムを通じて、日米の「ソーシャルサーカス」の担い手たちが対話し、互いの知見を共有することで、文化芸術を通じた社会包摂の実現や多様性社会の推進に向けて、幅広い議論を喚起する機会とします。

記

事業名称： 日米対話フォーラム「文化芸術を通じた多様性社会推進に向けて－「ソーシャルサーカス」のアプローチが持つ可能性－」

主催： 国際交流基金（JF）

開催日程： 2022年12月16日（金）14時～16時40分

言語： 日本語・英語（逐次通訳あり）

参加費： 無料（要事前申込み）

定員・申込： 定員40名（先着順）

<https://www.jpff.go.jp/j/project/intel/exchange/partnership/hosted/12-01.html>

会場： 国際交流基金（JF）本部ホールさくら

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpff.go.jp

プログラム

開会挨拶 / 事業及び登壇者の紹介

国内における障がい者などの芸術文化活動の支援の状況について

長津結一郎（九州大学大学院 芸術工学研究院准教授）※オンライン登壇

米国におけるソーシャルサーカスについて

ロッチェ・バイラム（サーカス・ディストリクト共同創設者・共同ディレクター、メリーランド大学ベンチャー・プログラム・マネージャー）

企業におけるダイバーシティへの取組：サン・クロレラの事例

中山太（株式会社サン・クロレラ 代表取締役社長）

川原恵美（サン・クロレラジャパン株式会社経営企画部）

トークセッション&質疑応答

栗栖良依（アートプロデューサー、認定 NPO 法人スローレーベル理事長）

ロッチェ・バイラム（サーカス・ディストリクト共同創設者・共同ディレクター、メリーランド大学ベンチャー・プログラム・マネージャー）

中山太（株式会社サン・クロレラ 代表取締役社長）

長津結一郎（九州大学大学院 芸術工学研究院准教授）

[モデレーター]

吉野さつき（愛知大学 文学部人文社会学科現代文化コースメディア芸術専攻教授）

登壇者略歴



長津結一郎（ながつ ゆういちろう）

九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。障がいのある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行っているほか、音楽実技やワークショップに関する教育、演劇・ダンス分野のマネジメントやプロデュースにも関わる。2013 年東京藝術大学大学院博士後期課程修了。博士（学術・東京藝術大学）。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』（単著。九州大学出版会、2018 年）、『アートマネジメントと社会包摂』（共編著。水曜社、2021 年）など。文化庁・障害者などによる文化芸術活動推進事業に係る企画案審査委員、厚生労働省・障害福祉分野の行政職員などを対象とした障害者による文化芸術

活動に関する研修ツールの研究アドバイザーなど、障がいのある人の表現活動に関連する文化庁・厚生労働省の複数の委員を歴任。九州大学大学院芸術工学研究院附属社会包摂デザイン・イニシアティブ運営委員、日本文化政策学会理事、文化経済学会〈日本〉理事、日本アートマネジメント学会運営委員。近年関与した作品・プロジェクトに、村川拓也演出『Pamilya（パミリア）』（ドラマトルク）など。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



ロッティ・バイラム

サーカス・ディストリクト共同創設者・共同ディレクター
メリーランド大学ベンチャー・プログラム・マネージャー

サーカス教育者、公衆衛生の研究者。ジョージア州アセンズなどでコミュニティサーカスのコーチを10年以上続けたのち、2016年ジョージワシントン大学で公衆衛生学の修士号を取得。2017年にサーカス芸術普及のためのネットワーク「サーカス・ディストリクト（Circus District）」をワシントンDCで共同設立。現在は同団体でマーケティングや会計面のマネジメントや、サーカスを通じた協働コミュニティの育成などを行うとともに、メリーランド大学ロバート・H・スミス・ビジネススクールにて学生起業家育成のためのプログラムを担当し、カリキュラム作成やコミュニティとのパートナーシップの開発、参加学生の発掘など幅広いサポートを行っている。



中山太（なかやま ふとし）

株式会社サン・クロレラ 代表取締役社長

2008年株式会社サン・クロレラ入社。国際部長、サン・クロレラ ロンドン支店長、サン・クロレラ中国法人総経理、サン・クロレラ USA 代表取締役を務め2016年より現職。ライフスタイルや価値観が多様化する中、組織内のマインドセットを刺激すべく2019年に栗栖良依氏の講演会を実施、その後SLOW LABELとの協業プロジェクト「Glue Crew」を立ち上げる。

プライベートでは現在、2児の父。育児の楽しさや難しさを全身で体感中。



川原恵美（かわはら えみ）

サン・クロレラジャパン株式会社 経営企画部

京都市出身。2008年サン・クロレラ販売株式会社（現サン・クロレラジャパン株式会社）入社。所属する経営企画部では販促物を手配する業務を主に担当し、印刷物の校正や社内報の制作にも携わる。2019年京都本社で開催された栗栖良依氏の講演に感銘を受け、その後社内公募があったSLOW LABELとの協業プロジェクト「Glue Crew」への参加を決意。「多様性を企業の力に変える」をメインテーマにCo.リーダーとして3年間プロジェクトに関わる。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



Photo by Hidemi SHINODA

栗栖良依（くりす よしえ）

アートプロデューサー、認定 NPO 法人スローレーベル理事長

「日常における非日常」をテーマに、異なる分野の人やコミュニティをつなげ、対話や協働のプロセスで社会変革を試みるアートプロジェクトを手掛ける。2010 年に骨肉腫を患い障がい福祉の世界に出会う。翌年、SLOW LABEL 設立。ヨコハマ・パトリエンナーレ総合ディレクター。リオパラリンピック旗引継式、東京 2020 パラリンピック開閉会式ステージアドバイザー。第 65 回横浜文化賞「文化・芸術奨励賞」、TBS「ひるおび」木曜コメンテーター。



撮影：杉本文

吉野さつき（よしの さつき）

愛知大学 文学部人文社会学科現代文化コースメディア芸術専攻 教授

英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学び、公立劇場勤務、英国での研修（文化庁派遣芸術家在外研修員）を経て、教育、福祉などの場で芸術を用いた活動に携わる。調査研究：日本財団パラリンピックサポートセンター、国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）などとの共同「障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査報告書」「障がい者による舞台芸術活動に関する ケーススタディ調査」（2016 年）。2017 年度から 2019 年度まで厚生労働省の障害者芸術文化活動普及支援事業評価委員。2021 年度、2022 年度文化庁の障害者などによる文化芸術活動推進事業に係る企画審査委員。文化経済学会（日本）会員。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」メンバー。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp